

**【 投薬 】****271 胃炎等に対するH<sub>2</sub>ブロッカー【内服薬】の算定について**

《令和6年8月30日》

**○ 取扱い**

- ① 次の傷病名に対するH<sub>2</sub>ブロッカー【内服薬】の算定は、原則として認められる。
  - (1) 胃炎
  - (2) 急性胃炎
  - (3) 慢性胃炎
- ② 胃癌に対するH<sub>2</sub>ブロッカー【内服薬】の算定は、原則として認められない。

**○ 取扱いを作成した根拠等**

H<sub>2</sub>ブロッカーは、胃粘膜の壁細胞に存在する胃酸分泌を調節しているH<sub>2</sub>受容体に直接作用して、胃酸分泌を抑制する。それにより、傷病名(1)から(3)の諸症状を緩和・改善する作用を示す。

一方、胃癌に対しては薬理作用上、直接的な腫瘍抑制作用は認められない。

以上のことから、胃炎、急性胃炎、慢性胃炎に対するH<sub>2</sub>ブロッカー【内服薬】の算定は、原則として認められるが、胃癌に対する算定は原則として認められないと判断した。